

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、文章の全体の構成を考え、内容の中心となる事柄を把握することについて、全国平均を上回る正答率でした。本校では、思考力の向上のために、読むことにおいて豊かに想像したり、筋道立てて考えたりする学習活動を大切にしてきました。それらの学習活動を通じて培った力が結果に表れてきたものと思われまます。

質問紙調査の結果から、「人が困っているときは、進んで助けていますか」の設問では、「している」と回答した児童は、61.8%と、全国平均と比較して、多いことが分かりました。これは、1年・6年の交流活動の積み重ねや帰りの会でのいいこと見つけの取組等が、結果に反映されたものと思われまます。

課題と対応

国語では、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや、算数では、答えの求め方や立式の理由を記述することにおいて、正答率が全国平均より低く、大きな課題が見られました。そこで、日々の授業で、自分の考えやそれを支える理由をノートに書いたり、学習した内容を振り返りキーワードを使いながらまとめを書いたりすることを継続的に指導していきます。

質問紙調査の結果からは、普段の1日当たりのテレビゲーム（コンピュータ・携帯・スマートフォンを含む）をする時間が2時間以上の児童が、69.1%で全国平均と比較して多いことが分かりました。一方、普段の1日当たりの読書の時間が10分より少ない児童が、56.3%で全国平均と比較して多いことが分かりました。藤田中学校校区で設定している「メディアコントロールチャレンジ」の取組を中心に、自分の生活時間について振り返り、生活リズムや時間の使い方の改善を図ることができるようしていきたいと考えまます。

【保護者・学区の方へのお願い】

本校では、継続して年間3回の「メディアコントロールチャレンジ」週間を設定しており、その取組は、子どもたちにも定着してきています。しかしながら、全国学調の結果から、朝食を食べない、テレビゲーム等をする時間が長い等、生活リズムの改善が必要な児童も多く見られます。メディアとのよい距離感を持ち、よりよい生活習慣の確立のための活動を学校と家庭で連携して進められるようにより一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	文脈にふさわしい接続語を用いることができる。
	社会	方位を表す記号を理解している。
	算数	道のりを様々な単位を使って表すことができる。
	理科	大きな音が出ているときのもののふるえ方を理解している。
	学習状況	家で学校の授業の復習をしている。
第5学年	国語	登場人物の性格について、複数の叙述と結び付けて具体的に想像している。
	社会	西大寺会陽について理解している。
	算数	計算の順序を理解して計算ができる。
	理科	天気による気温の変化と日常生活を関連付けて考えることができる。
	学習状況	授業で学習した内容をよりくわしく調べてみたいと思っている。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	文の構成（主語と述語）について理解することに課題がある。	国語科においては文の構成（主語と述語）について理解できるような場面を、社会科では資料から必要な情報を読み取る場面を、授業の中で意図的に設定していきたい。算数科や理科では基礎的な内容や数の概念の理解に課題があるので、授業の中で言葉の意味や物や数の性質について丁寧に押さえるようにしていきたい。 学習状況については、家で学校の授業の復習をしているが、ゲームや勉強以外のインターネットに接する時間が長いことに課題がある。そこで児童のメディアコントロールに対する意識の向上を図るために、これまで取り組んでいるノーメディアデーの取組に加え、その後の1週間の意識向上を図る90分トライや運営委員会の児童を中心としたメディアコントロールの取組を実施していきたい。
	社会	資料から必要な情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	□を使って立式することに課題がある。	
	理科	目的に合わせた回路を組むことに課題がある。	
	学習状況	普段（月曜日から金曜日）、ゲームをする時間が長い状況が見られる。	
第5学年	国語	文の構成（主語と述語）について理解することに課題がある。	国語科においては文の構成（主語と述語）について理解できるような場面を、社会科では学習したことを自分の生活と関連付けて考えたり、自分の考えを表現したりする場面を、授業の中で意図的に設定していきたい。算数科では式を立てるだけではなくその意味をじっくりと考える時間を確保していきたい。理科では実験や観察の結果から分かったことを図で表したり、言葉で説明したりすることで、知識の定着や理解の深まりを目指していきたい。 学習状況については、学習内容をより詳しく調べていきたいと思っている児童が多い一方で、ゲームや勉強以外のインターネットに接する時間が長く、家庭での時間の使い方に課題がある。メディアコントロールに対する意識の向上を図るため、これまで取り組んできた取組をさらに充実させていきたい。
	社会	ごみの減量について、自分の生活と関連付けた対処の仕方を考え表現することに課題がある。	
	算数	数量の関係を式にすることに課題がある。	
	理科	金属の温まり方の理解に課題がある。	
	学習状況	普段（月曜日から金曜日）、ゲームをする時間が長い状況が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

本校児童は、家庭学習にきちんと取り組む習慣は付いています。今年度は自主学習の内容がさらに充実するようにメニューを刷新したり取組の紹介をしたりしていきます。課題としてはゲームやタブレット等に費やす時間が長い傾向にあることです。今年度は中学校区を挙げてのメディアコントロールの取組に加え、本校でもノーメディアデー後の1週間の90分トライを設定したり、運営委員会を中心とした取組を実施していく予定です。ご家庭でもメディアに接する時間と勉強時間との調整を図ってくださいますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。